

評議会だより

第四七八回評議会

平成七年五月二十三日(火)

☆(新評議員の紹介)

法学部教授 阪本 昌成
経済学部教授 平木 秀作

☆(新オブザーバーの紹介)

学長補佐 戸田 吉信(総合科学部教授)
松浦 博厚(理学部教授)

☆(教員選考報告)

地域共同研究センター
助教 今岡 務(衛生工学)

教育学部

教授 水町伊佐男(言語学)

理学部

助教 小嶋 康史(核物性論)

医学部

助教 有田 和徳(脳神経外科学)
助教 黒川 知則(薬効解析科学)

工学部

講師 田邊 修(生化学第二)
講師 石黒 熊寿(薬理学)
講師 武島 幸男(病理学第二)
講師 瀬尾 明彦(公衆衛生学)

生物学部

教授 山根八洲男(機械設計工学)
助教 西村 行雄(機械設計工学)
助教 村山 長(機械設計工学)

原爆放射能医学研究所

教授 大瀧 慈(社会医学研究部門)

(報告)

一・統合移転完了記念事業の事業内容等に

ついて報告があった後、記念事業に対する協力要請があり、十一月一日〜二日の間の全学休講措置については、部局事業の実施日程決定後、全体計画をみながら決定される予定。

二・広島大学大学院国際協力研究科教員選考基準細則の制定について報告があった。

三・歯学部と中華人民共和国華西医科大学口腔医学院との間の学術交流に関する協定の締結について、報告があった。

(議事)

- 学部教育の改革について
原案(修正案)のとおり承認された。
- 広島大学教養的教育検討委員会規程の改正について
原案のとおり承認し、五月二十三日付で制定・施行することとした。
- 名譽教授の選考について
新規施行後初の投票の結果、一一八名に対し名譽教授の称号を授与することを決定した。

オリエンテーリング部

吉村君、世界選手権大会へ

七月八日から五日間にわたり、デンマークで開催される「95オリエンテーリング・ジュニア世界選手権大会」に工学部二年生の吉村充功(よしむら・みつひ)君の出場が決まった。

昨年度は世界学生オリエンテーリング選手権大会に植田佳子・稲村仁美の両選手が出場した。健闘を期待したい。

本年度の文部省科研費、

広大関係は十三億千七十万円

平成七年度の文部省科学研究費の交付内定状況が、このほど明らかになった。

広大への交付金額は十三億千七十万円で、昨年より約千六百八十万円(約一・三%)増となっている。

本年度の大学の申請の平均採択率は三八・二%で、部局別の申請件数、採択件数、交付金額は表のようになっている。

(資料提供 庶務部庶務課研究協力係)

(平成7年6月23日現在)

部局	申請件数	採択件数	交付金額(千円)
総合科学部	189	60	157,800
文学部	39	17	19,900
教育学部	73	42	50,000
学校教育学部	44	10	17,000
法学部	19	8	7,400
経済学部	6	3	5,800
理学部	252	104	272,900
医学部	209	77	148,600
医学部附属病院	80	21	25,300
歯学部	119	51	106,300
歯学部附属病院	47	15	15,900
工学部	323	117	295,200
生物生産学部	67	27	47,400
大学院国際協力研究科	17	14	23,200
原爆放射能医学研究所	59	26	98,700
大学教育研究センター	7	3	7,200
総合情報処理センター	3		
集積化システム研究センター	3	1	2,400
遺伝子実験施設	5	2	2,000
低温センター	1		
留学生センター	2	1	1,000
機器分析センター	2	1	2,200
保健管理センター	4		
平和科学研究センター	4	1	4,500
計	1,574	601	1,310,700

(注) 上記の数字は、国際学術研究を含んだものである。

図書館など移転部局で

「竣工・記念式典」開催

中央図書館と大学教育研究センターの「竣工・移転記念」式典・祝賀会が、六月十日(土)午前十一時から図書館内のライブラリーホールを中心で開催された。文部省の上田学術情報基盤整備局長をはじめ、原田学長ら学内教職員、広島島市関係者、近隣大学図書館関係者、大学教育研究センター関係者約一三〇名が出席して開催された。

前日まで降り続いた雨も上がり、記念式典、祝賀会とも竣工・移転を祝うとともに、今後の図書館・センターの役割に対する期待の言葉に満ち溢れた催しとなった。

一方、学校教育学部では五月二十七日(土)に、法学部・経済学部では五月十三日(土)に、それぞれ記念式典及び祝賀会が開催された。

機器分析センター

移転記念式典と祝賀会

去る六月二十一日、理学部大会議室で広島大学機器分析センター(センター長：熊丸尚宏理学部教授)の移転記念式典とその祝賀会が行われた。

当日は、原田学長、田中前学長、今田事務局長、牟田理学部長をはじめとする本学関係者に加えて、他大学の関係者や学外者を含めた多くの来賓が出席され、盛大に開催された。

機器分析センターは、平成二年に学内共同利用施設として設立されて以来、東千田キャンパス旧理学部二号館で活動してきたが、本年三月末、西条キャンパス理学部北側に、全国の機器分析センターの中で最も広い建物(三階建、一四四〇平方メートル)が完成。これまで学内に分散していた各種の大型機器が集中管理され、再出発する。

このたびの移転を期に、同センターの一層の充実とさらなる発展が期待されている。なお、同センターの紹介記事が近く本誌に掲載される予定である。